



27

ゆうほどうにぎたつみち 遊歩道熟田津の道

愛媛県松山市道後喜多町

松山市は、愛媛県の中央部の松山平野に位置する県都である。城下町時代から商業都市として栄えてきた。また、道後温泉をはじめとする観光資源にも恵まれており、四国の高次機能都市として、「緑と文化の映える生涯教育都市」の実現に向かって発展している。（文化・観光）道後温泉、松山城、石手寺、椿祭り（旧暦1月7～9日）



松山市は道後温泉をひかえ、国際観光都市として有名であるが、道後温泉から西方の市街地に通じる市道を整備し、市民から愛称を募り、「遊歩道熟田津の道」と命名した。

命名のいわれは、万葉集の中にある額田王の短歌にちなんだものである。

遊歩道の随所に椅子やベンチを設置し、沿道には市花の椿や道後の街の木であるもみじが植えられ、温泉を訪れる人々や地域住民にとって、やすらぎとうるおいを与える格好の場となっている。

また毎年開催される道後温泉まつりでは、延べ一〇〇〇人にのぼる参加者によって大綱引き大会が行われ、たくさんの観光客でにぎわっている。

遊歩道の維持管理は、町内会の積極的な参加によって、路面の清掃、植栽への散水など、年間をとおしての奉仕活動が行われている。